

第41期

エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：平成26年12月～平成27年11月



発行日：平成28年5月31日



株式会社

タカハシ電工

目 次

1. 環境方針	—	3
2. 組織の概要と認証登録範囲	—	4
3. 40期環境負荷分析	—	5
4. 41期環境目標及び活動計画	—	8
5. 41期環境目標達成状況	—	10
6. 環境活動計画の実施状況	—	12
7. 環境関連法規等の遵守状況	—	14
8. 代表者による見直しの結果	—	14

1. 環境方針



【基本理念】

当社は昭和44年より事業を営み、お客様に安全・確実な電気設備をお届けしてきたと自負しております。又、平成13年より太陽光発電設備の普及・販売に尽力してまいりました。少しは二酸化炭素排出量の削減(地球温暖化防止)にお役に立てたかと思っております。

これからも安全・確実な電気工事業を行っていくと共に、今後も地域への密着を更に図り、村山・置賜地方への環境保全にお役に立ちたいという思いを強くしております。

その為にもこのエコアクション21環境経営システムを導入し、継続的な環境負荷削減に取り組んでいく事をここに約束致します。

【行動方針】

- 再生可能エネルギーに積極的に取り組み、温暖化防止に対応していきます。
- 特に太陽光発電システムの普及に努め、自社内でも活用していきます。
- エコドライブを推進し、ガソリンの使用削減を目指します。
- 水資源の有効利用のため、節水に取り組めます
- 環境関連法規を遵守します。
- グリーン購入を推進します。
- 地域の環境保全活動を支援していきます。
- 環境保全活動を社内外に強くアピールしていきます。
- 建設現場での環境配慮の仕組みを構築・実施していきます。

平成25年09月15日
(改訂 平成27年05月13日)
株式会社タカハシ電工

代表取締役 高橋 勝治

2. 組織の概要



2-1. 会社名及び代表者氏名

▽株式会社タカハシ電工

◇代表取締役 高橋 勝治

2-2. 所在地

▽本社 〒990-0831 山形県山形市西田2丁目24番40号 Tel:023-644-1666

▽米沢営業所 〒992-0023 山形県米沢市下花沢2丁目1番67-1号 Tel:0238-49-7649

2-3. 資本金

▽2,000万円

2-4. 会社設立及び事業年度

▽昭和49年12月

◇12月～11月(平成25年12月から第40期)

2-4. 事業内容

▽電気設備工事業 山形県知事許可(特-27)100944号

▽消防設備工事業 山形県知事許可(般-27)100944号

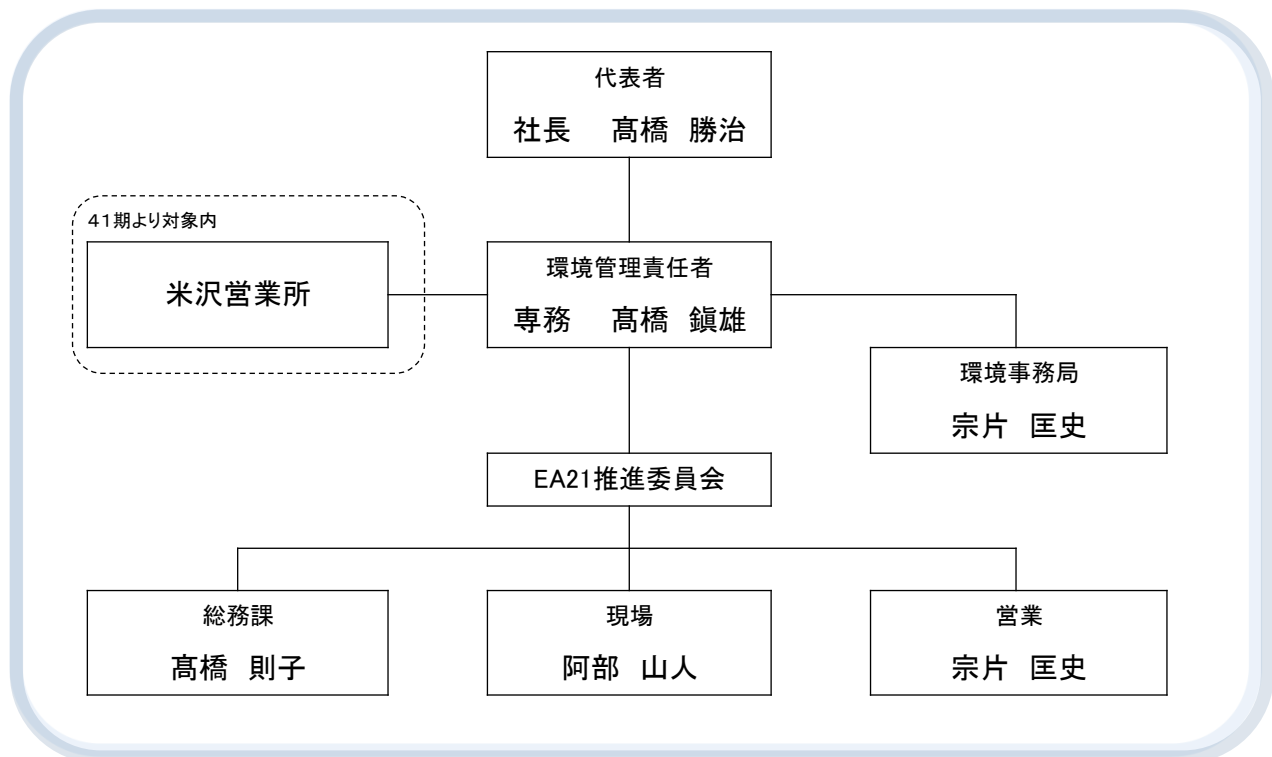
▽電気通信工事業 山形県知事許可(般-27)100944号

2-5. 事業の規模

▽工事完工高(40期) 560百万円 ◇従業員数(40期) 34名

2-6. 認証・登録範囲

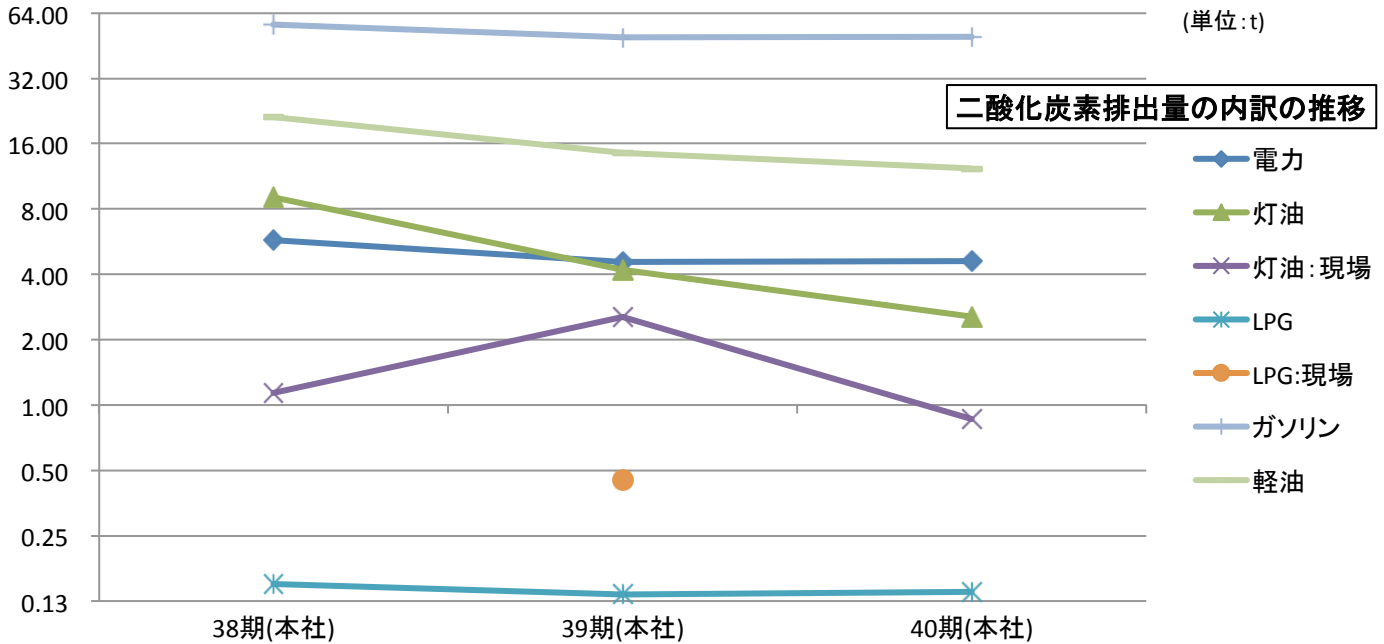
▽41期より全社・全活動が認証範囲となります。



3. 40期環境負荷分析



3-1. 二酸化炭素排出量



▽40期の本社のみでの二酸化炭素排出量は約70.0tで一般家庭の14件分に相当します。
 ▽41期より米沢営業所を含めた全社を対象とします。40期は全社で約75.8tt(一般家庭の15件分)の二酸化炭素排出量でした。
 ▽38期・39期は米沢営業所を除いた数値ですが、38期で93.8tt・39期で75.8ttの二酸化炭素排出量でした。削減率では38期に対して19.2%・39期に対しては7.7%の削減となります。

▽相変わらず”ガソリン””軽油”の占める割合が大きく、40期(本社のみ)で合わせて61.8tで、全体の88.3%をも占めています。

▽しかし、過去2年間と排出量を比較すると38期77.7t、39期64.0tですので、微減傾向にあります。社用車の台数が増え、山形市以外の現場が増えつつある状況でのこの結果は、エコドライブが浸透しつつある事と言えます。

▽又今回より米沢営業所を含めますが、米沢地域で給油する車は40期現在では3台かつ山形で給油する機会が多いので、現在の割合は少ないです。しかし今後置賜地域の現場は増える見込みですので、米沢でのガソリン・軽油の消費量は増えると思われます。

▽電力は本社のみを過去2年間で比較すると38期より1t程度の減、39期からは0.1tの微増でした。40期で本社のみと全社を比べると1.2t増加しますが、この増加分には米沢営業の他に9月から稼働した 白鷹発電所の分が入っているため、月当たりの消費電力量は米沢営業所より白鷹発電所の方が 大きいです。(白鷹発電所は月200kwh程度消費します。)

▽9月に稼働を開始した白鷹発電所は稼働3か月に過ぎませんが、23,570kwhの発電を今季行いました。これは全社での購入電力量の2倍以上で、二酸化炭素排出量に換算すると12.9t分に相当します。他に本社で1,200kwh、米沢で4,400kwh発電しており、全て合計すると29,000kwh発電・約16t分の二酸化炭素排出量削減に貢献した形になります。

▽灯油使用量は確実に削減されています。要因として考えられるものとして、1. ペレットストーブの効果、2. ウォームビズ、3. 暖冬化などがあります。

▽LPGはほぼ横這いとなります。

3-2. 産業廃棄物排出量

▽一般廃棄物(生活系ごみ類)は持帰り運動を徹底しており、会社としては発生しておりません。

▽産業廃棄物は産廃業者との契約を締結し、マニフェストに基づいた管理を行っています。

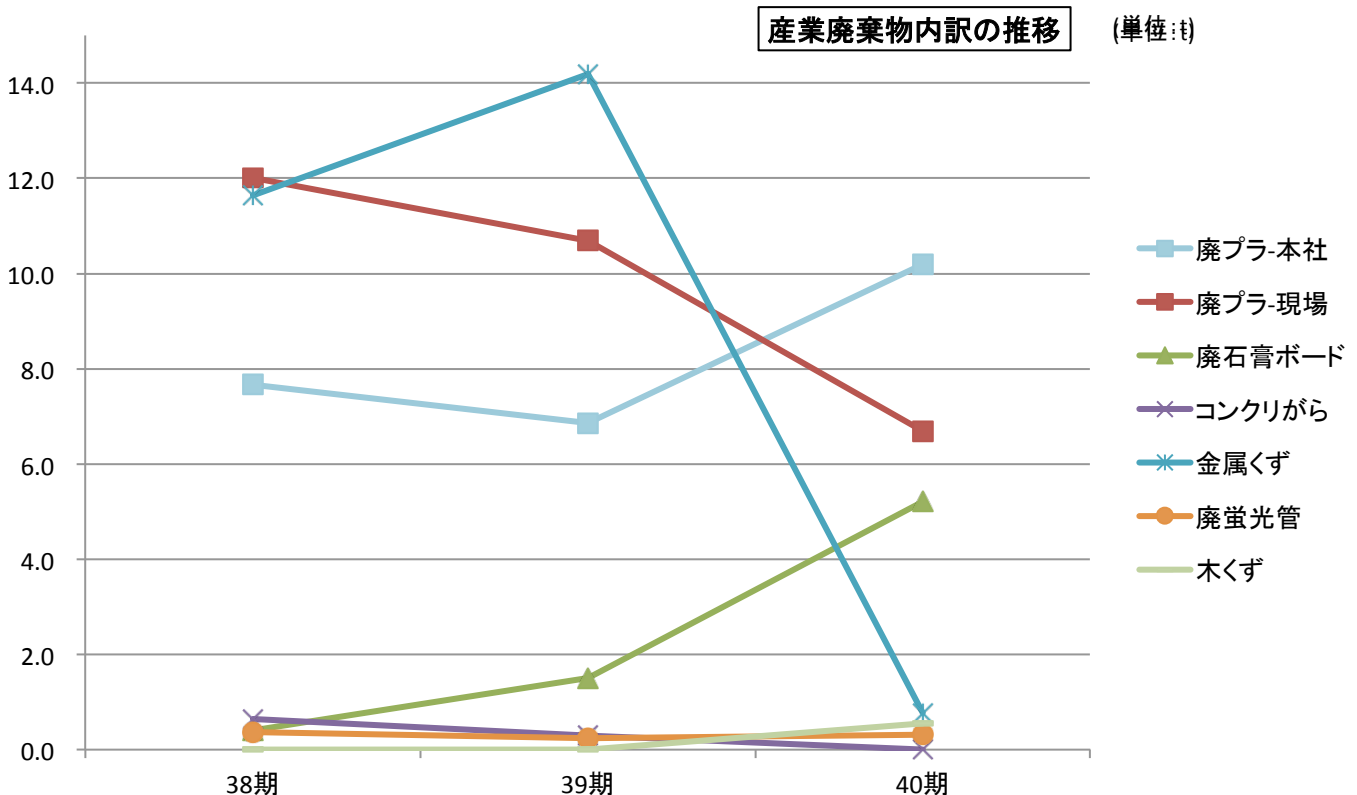
▽産廃排出量は38-39期間は微増でしたが今期は大幅減となりました。これは金属くずが今期はほとんど無かった為で、大きな改修工事が無かった(今期の受注案件は工期が来期まで)為です。

▽現場において、大口現場では廃棄物用のコンテナの設置、廃棄物の分別等を徹底しており、小口現場では発生排出物の持ち帰り、事務所での分別を行っています。

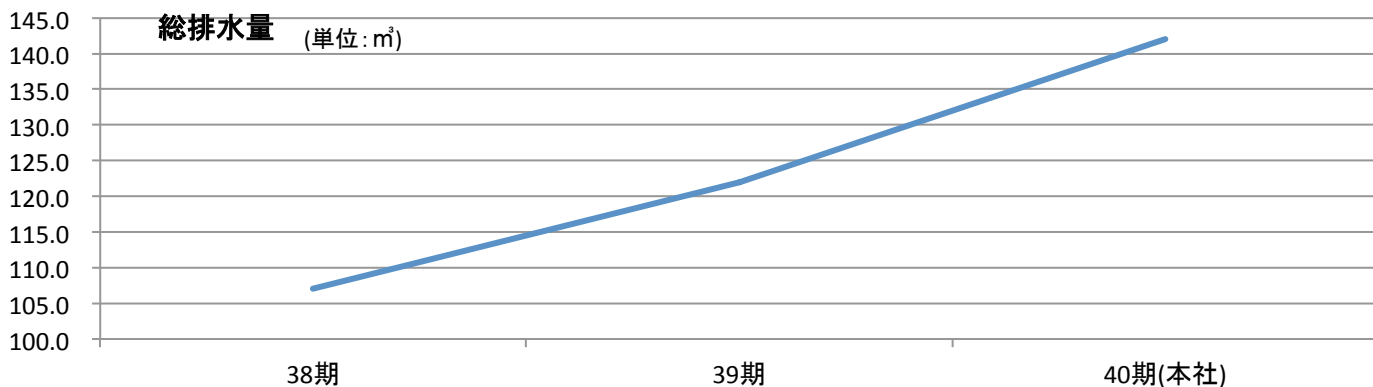
▽廃プラは39期との比較で本社分は大幅減・現場分は大幅増ですが、本社・現場をおしなべると 1割程度の逓減傾向にあります。

▽今期は上に記したように金属くずはほとんど発生しませんでした。しかしこれは今期のみの特徴と 思われ、来期には大口工事の工期がありますので排出があるものと予想されます。金属くずは改修工事等を行う場合多く排出されますが、完全リサイクル処理されています。

▽その他の産廃については、現場によって発生するものですので適宜適切に処理しております。



3-3. 総排水量(水使用量)



▽総排水量は他の水源を利用していないため、水使用量(上水)と同じです。
▽40期(本社)は142m³ですが、現場事務所での水使用量13m³が入っています。
現場分を差し引くと129m³で39期に対して5%増加となります。
▽米沢営業所の今期総排水量は29m³、今後はこの値が基本となります。

(単位:m ³)	38期	-	39期	前年比	40期(本社)	前年比	40期(全社)	前年比
総排水量	107.0	-	122.0	114.0%	142.0	116.4%	171.0	140.2%

3-4. 化学物質使用量

◇化学物質の使用はありません。

4. エコアクション2 1 環境目標及び活動計画



4-1. 数値目標(期間:41期 平成26年12月～平成27年11月)

本社のみ		単位	38期 基準年	39期 実績	40期 実績	41期 目標	目標比	逡減率	42期 目標	目標比	43期 目標	目標比
			A	B	C	D	1-D/C	1-D/A	E	1-E/A	F	1-F/A
二酸化 炭素 排出量	電力使用	t-CO2	5.76	4.56	4.61	4.61	0.0%	19.9%	5.53	4.0%	5.47	5.0%
	灯油	t-CO2	10.21	6.74	3.41	3.38	1.0%	66.9%	9.80	4.0%	9.70	5.0%
	LPG	t-CO2	0.15	0.58	0.14	0.14	1.0%	8.6%	0.14	4.0%	0.14	5.0%
	ガソリン	t-CO2	56.42	49.44	49.50	49.50	0.0%	12.3%	54.16	4.0%	53.60	5.0%
	軽油	t-CO2	21.30	14.55	12.31	12.18	1.0%	42.8%	20.44	4.0%	20.23	5.0%
産業廃棄物	t	32.79	33.76	23.74	23.50	1.0%	28.3%	31.48	4.0%	31.15	5.0%	
水使用量	m ³	107	122	142	142	0.0%	-32.7%	103	4.0%	102	5.0%	

全社		単位	40期 基準年	41期 目標	前年比	42期 目標	目標比	43期 目標	目標比
			C	D	1-D/C	E	1-E/C	F	1-F/C
二酸化 炭素 排出量	電力使用	t-CO2	5.85	5.85	0.0%	5.85	0.0%	5.85	0.0%
	灯油	t-CO2	4.35	4.31	1.0%	4.31	1.0%	4.27	2.0%
	LPG	t-CO2	0.22	0.22	1.0%	0.22	1.0%	0.22	2.0%
	ガソリン	t-CO2	52.59	52.59	0.0%	52.59	0.0%	52.59	0.0%
	軽油	t-CO2	12.73	12.60	1.0%	12.60	1.0%	12.48	2.0%
産業廃棄物	t	23.74	23.50	1.0%	23.50	1.0%	23.27	2.0%	
水使用量	m ³	171	171	0.0%	171.00	0.0%	171.00	0.0%	

※電力に係る二酸化炭素換算係数は、平成23年度東北電力実排出係数(0.547)を使用しています。

▽41期より米沢営業所を含めた全社をea21の対象とします。

▽よって40期の全社分のデータを基準として、全社分として管理します。

▽ea21認証取得は本社のみで38期からですので、中期目標期間は43期まで立案してましたので、43期までは両方を並列で追いかけていきます。

▽本社のみの中期目標に関しては、既に目標値を大幅に下回っている項目もありますが(灯油・ガソリン・軽油)、ea21の中期サイクルを回すという観点から中期目標には変更を加えておりません。

▽基本的に、38期基準年値から毎年1%ずつ削減していくという中期目標に対し、期の目標としては前期実績より1%減らすことを目標として掲げます。しかし、消費量増加が見込まれる電力・ガソリン・水に関しては、前年の実績を保持する事を目標としました。

4-2. 活動計画

4-2-1. 太陽光発電設備の普及促進

▽100kwhの発電容量を持つタカハシ電工白鷹発電所が40期9月に発電開始。41期はその運用に対応し、効率的な発電を心がけます。

▽市民出資型の200kwh発電容量の太陽光発電所に資本参加し、41期中の発電開始を目指します。

▽公共物件で太陽光絡みの案件を1件以上手がける事を目指します。

4-2-2. ガソリン・軽油の削減(最も環境に負荷をかけている要素)(継続)

◇エコドライブの推進・普及

ー現在行っている社用車運転の際のエコドライブの普及に更に努めます。

ーエコドライブ講習の実施を企画します。

◇燃費管理

ーエコドライブの促進の為、社用車1台単位の燃費管理を企画しその基盤を整備します。

◇ハイブリット車・新規車種への入替促進

4-2-3. 上水の使用量調査・削減管理

▽現状分析の結果唯一使用量が増えている上水に関し、その原因を分析し、今後削減が図れるような体制を構築します。

▽節水シールの貼付やトイレタンクへのペットボトル投入等、節水を呼び掛ける具体的な活動を行います。

4-2-4. 大口案件の現場事務所での環境活動の促進

▽現在大口案件で現場事務所現場事務所を開く場合の環境活動内容を吟味し、環境活動案を策定します。

4-2-5. ea21会議の定期的な開催

▽年1・2回開催のea21会議の回数を増やしていきます。

4-2-6. グリーン購入の導入準備(継続)

◇現在購入しているオフィス用品のグリーン購入対象品との入替を検討します。

その為の入替対象のエコ商品の選定、購入率の把握を開始します。

5. 環境目標達成状況



5-1. 達成状況表

41期環境目標に対する実績(本社のみ)



本社のみ	単位	38期 基準年	39期 実績	40期 実績	41期					
					目標	実績	達成率	前年比	基準年比	
					A	B	C	D	E	D/E
二酸化 炭素 排出量	電力使用	t-CO ₂	5.76	4.56	4.61	4.61	4.55	101.3%	1.3%	20.9%
	灯油	t-CO ₂	10.21	6.74	3.41	3.38	4.05	83.4%	-18.7%	60.3%
	LPG	t-CO ₂	0.15	0.58	0.14	0.14	0.17	80.1%	-23.6%	-14.1%
	ガソリン	t-CO ₂	56.42	49.44	49.50	49.50	53.34	92.8%	-7.7%	5.5%
	軽油	t-CO ₂	21.30	14.55	12.31	12.18	12.64	96.4%	-2.7%	40.6%
産業廃棄物	t	32.79	33.76	23.74	23.50	19.08	123.2%	19.6%	41.8%	
水使用量	m ³	107.0	122.0	142.0	142.0	129.0	110.1%	9.2%	-20.6%	

41期環境目標に対する実績(全社)



全社	単位	40期 基準年	41期				
			目標	実績	達成率	基準年比	
			C	D	E	D/E	1-E/C
二酸化 炭素 排出量	電力使用	t-CO ₂	5.85	5.85	7.46	78.4%	-27.5%
	灯油	t-CO ₂	4.35	4.31	5.81	74.2%	-33.4%
	LPG	t-CO ₂	0.22	0.22	0.26	86.3%	-14.7%
	ガソリン	t-CO ₂	52.59	52.59	56.21	93.6%	-6.9%
	軽油	t-CO ₂	12.73	12.60	17.14	73.5%	-34.7%
産業廃棄物	t	23.74	23.50	19.08	123.2%	19.6%	
水使用量	m ³	171	171	161.80	105.7%	5.4%	

5-2. 評価

▽41期の二酸化炭素排出量は本社のみで74.8t、全社で86.9tとなりました。これは40期と比べて本社のみで6.8%、全社で14.7%の増加となりました。

▽これは41期本社のみ全体の88%を占めるガソリン・軽油の伸びによるものが大きく、41期も社用車を増やし又置賜地域の現場数が増える等が要因として考えられます。

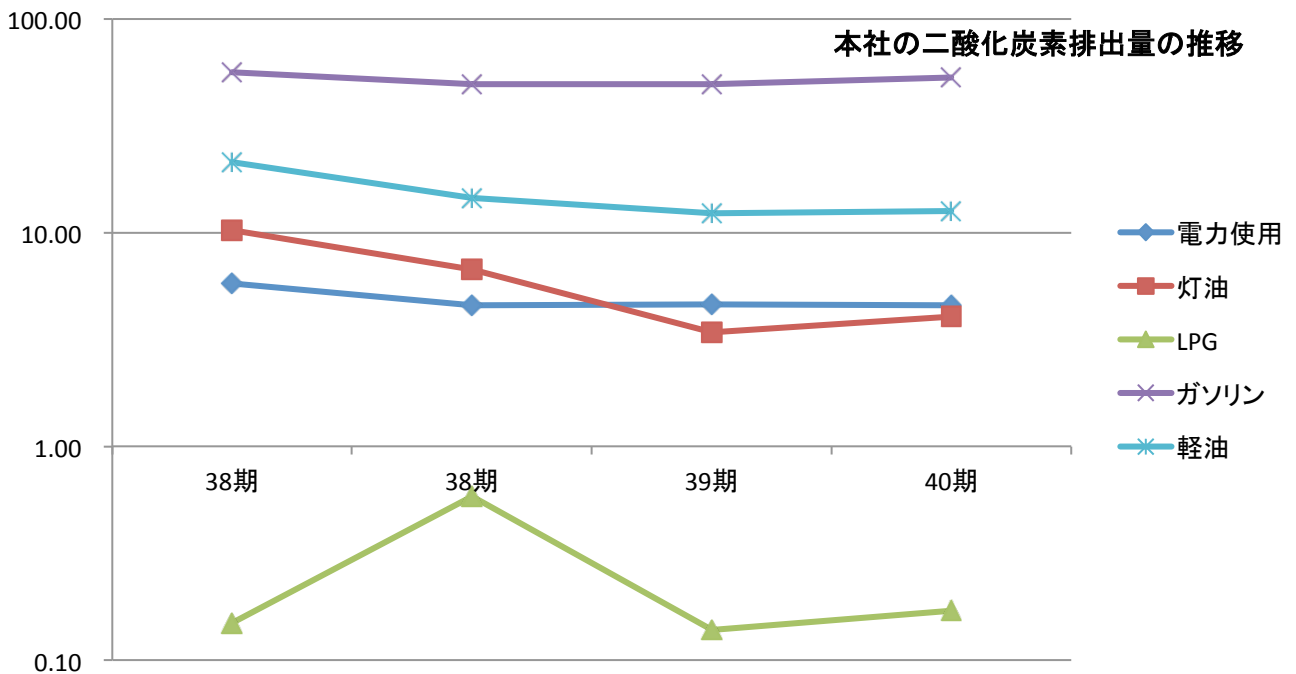
▽又H26年12月の大雪などの原因で冬場の暖房での排出量(特に灯油)が増えました。

▽電力については、本社で見た場合は1.3%削減できましたが、全社で見た場合28%程の増加となっております。これは白鷹発電所での消費電力分が入っているため、白鷹発電所は米沢営業所の1.5倍程度の電力を消費しています。

▽尚、全社から本社を引いた12t程度が米沢営業所の排出量となり、この中には米沢営業所での電力・灯油・LPGの購入分、米沢で給油されたガソリン・軽油、更に白鷹発電所の消費電力分があります。

▽産業廃棄物及び水使用量は削減できました。

▽社員数・社用車数・現場のエリアが増えていますので、全体として二酸化炭素排出量は増加傾向にあると言えます。今期目標に掲げ、出来なかった社用車の燃費管理を行わなければならない状況かと思われます。



6. 環境活動計画の実施状況

6-1. 太陽光発電設備の利用・普及促進

▽やまがた県民自然エネルギー株式会社川西太陽光発電所(200kwh)H27年10月に発電開始(市民出資型株式会社。弊社も出資。施工も請け負いました。)



やまがた県民自然エネルギー
川西太陽光発電所



タカハシ電工
白鷹太陽光発電所

▽白鷹太陽光発電所 41期 94,840kwh 発電。二酸化炭素排出量54t分。

サイトの名称等	単位	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年度計
本社	kwh	20	0	10	62	147	253	205	93	43	60	188	108	1,189
米沢	kwh	20	5	32	308	537	723	593	532	417	405	448	203	4,223
白鷹	kwh	2,100	2,360	4,220	7,470	11,110	16,440	10,980	8,910	6,720	7,550	9,730	7,250	94,840
合計	kwh	2,140	2,365	4,262	7,840	11,794	17,416	11,778	9,535	7,180	8,015	10,366	7,561	100,252

▽全社合わせて41期 100,000kwh発電達成。

6-2. 環境活動計画の取組結果(詳細は次頁)

▽この41期より米沢営業所を含めて全社を見る形になりました。二酸化炭素排出量・産業廃棄物量・水使用量の数字の把握・分析までは出来るようになってきました。

▽分析結果に基づき対応すべき事項の拾い出し・優先順位の設定・施策の立案・実行のサイクルを行っていきけるよう、今後は習慣づけていくようにします。

▽目玉であった太陽光発電所の設立は2件達成できました。今後も発電実績は追いかけていきますが、太陽光発電以外の環境福削減に貢献できる事業を考えていかねばならないでしょう。

▽大口建設現場での環境負荷削減行動方針やグリーン購入など、未だ手の付けられなかった部分にも諦めずにチャレンジしていきます。

41期環境活動方針の自己採点結果

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	評価期間 通年
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期19℃、冷房期27℃で管理する。	○
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃する。	○
	■ガソリン・軽油使用量の削減	■エコ運転の教育研修	△
		■5000kmごとにオイル交換、10000kmごとにエレメント交換	○
		■社用車のハイブリッド化	○
		■燃費管理体制の確立	×
■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■ペレットストーブの継続使用	○	
	■ウォームビズの奨励	○	
の削減と適正管理 廃棄物排出量	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■コピー用紙の両面使用	○
		■飲料缶・ペットボトルの持ち帰り	○
	■産業廃棄物の適正管理	■産廃業者への分別・廃棄方法/分量の確認	△
		■マニフェスト・契約書類の管理	○
製品・サービス関連	太陽光発電設備の活用・普及	■白鷹発電所と同規模の太陽光発電の提案活動	○
		■	
		■	
建設現場での環境配慮		■建設現場環境配慮チェックリストの作成と試行	×
		■同上運用開始	×
の削減 排水量	■水道使用量の削減	■トイレの流水量の調整	×
		■節水シールの掲示	×
		■	
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	×
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立	△
山形EA21関連	■環境保護団体への協力	■「山形県環境保全協議会」主催事業への参加協力	○
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、側溝清掃、草刈りなどの実施	○
	■地域ボランティア	■雪降りボランティアの実施	△

6-3. 次期以降の取組内容(課題)

- ▽ea21会議のメンバー固定・定期的開催
- ▽建設現場における環境負荷削減のルール確立・施工
- ▽社用車の燃費管理システムの確立
- ▽グリーン購入の検討・実施
- ▽太陽光発電事業に代わる環境負荷削減に貢献できる事業の模索・検討・実施



7. 環境関連法規等の遵守状況

7-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況(平成28年03月現在)

<廃棄物処理関係>

▽廃棄物処理法(山形県産業廃棄物の処理に関する指導要綱)

→問題はありませんでした。

<リサイクル関係>

▽建設リサイクル法

→アスファルト・コンクリート廃材を稀に排出しますが(38期に1回(200k)、39期は無し)適切に手続きしております。

▽自動車リサイクル法

→廃車・廃タイヤは適切に処理・手続きを行っております。

▽フロン排出抑制法(フロン回収破壊法改正)

→期間中特定製品の排出はありませんでした。

◇家電リサイクル法

→エアコン・TVの入替等排出する場合があります、適切に処理・手続きをしております。

<消防関係>

◇山形市火災予防条例(少量危険物貯蔵等)

→該当する施設はありません。

7-2. 環境関連法令違反・訴訟の有無

創業以来、行政当局より、環境関連法令違反による行政処分を受けたことはありません。また、環境関連の訴訟を受けたこともありません。



8. 代表者による見直しの結果

平成26年9月に発電を開始しました白鷹太陽光発電所は、大雪によるモジュールフレームの変形や夏場の発電量低下等ありましたが、確実に発電を続け1万kwh近くの発電量となりました。改めて太陽の力強さを実感すると共に、環境負荷削減に貢献できた思いです。

38期より行ってきましたea21ですが、今後の事業拡大に際し良い指標とさせていただき、今後も環境負荷の削減に努力していく所存です。

【評価点】

1. 白鷹太陽光発電所の年間通しての活動
2. エコドライブの推進

【課題点】

(全て40期からの継続)

1. 一部の担当者だけの活動になっており、全社的活動になっていない。
2. 目標として掲げたものに対する行動が伴っていない。
3. 問題点の指摘は良いが、それに対する対応策が伴っていない。

環境方針・環境目標・環境活動計画・環境経営システムは継続

株式会社タカハシ電工

代表取締役 高橋 勝治